

研修マニュアル（眼科） ver.1.3

（2026/1/31 作成）

【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金	土	日
午前	病棟回診 外来 新患対応	病棟回診 外来 新患対応	病棟回診 手術	病棟回診 全体回診 外来 新患対応	病棟回診 外来 新患対応	できたら 1日1回 病棟回診	
午後	外来 （手術）	外来 （手術）	手術	外来 （手術）	外来 （手術）		
夜	（豚眼実習）	16時半～Cf					

Cf：カンファレンス、その後、不定期に勉強会

ミニレクチャー：研修開始週のみ

◎到達目標

眼科研修時の到達目標の目安

【知識】

- ・一般的な眼科診察・検査所見が解釈できる
- ・白内障、緑内障、硝子体手術の大まかな流れが理解できる

【技術】

2 週間まで

- ・ 上級医の診察に陪席し、眼科外来・病棟・手術室における眼科の大まかな仕事

事内容について学び、診察技術を見て学ぶ

- ・ 眼科外来において各種の眼科検査法を学ぶ

3 週間目以降

- ・ 毎週 1 例以上、入院担当患者を上級医とともに受けもち、一緒に診察すること

とで診察技術を向上させるとともに、週 1 度のカンファレンスで担当患者のプレゼンを行い、あわせて、基本的なプレゼン能力を向上させる

- ・ 上級医の監督のもと、眼科手術助手に入れるようになる

◎病棟

眼科で入院になる方のほとんどは手術加療が必要な方になります。適宜担当症例を割り振りますが、レポート作成のために受け持つ必要のある症例や興味のある症例があればその都度申し出て下さい。担当症例については上級医とともに診察を行います。また、診察後は各種診察・検査所見を踏まえて、診療録の記載をしましょう。

◎外来

基本的に眼科外来では初診担当医の外来に陪席して眼科診察を勉強しましょう。また、慣れてきたら、上級医の監督のもと、初診患者の病歴聴取、検査、診察を行ってもらいます。その日の初診担当医の指示をよく聞いて、患者さんに失礼のないように眼科の一員として診療を行ってください。わからないことがあればそのままにせず必ず確認するようにしてください。

◎手術

水曜日が終日手術日になりますが、月曜、木曜、金曜も午後から手術を行っています。まずは外回りの仕事をしながら手術の流れを理解し、そのうえで、白内障手術の助手から始めてもらいます。慣れてくれば緑内障・硝子体手術の助手もできるようになるとよいでしょう。

◎カンファレンス

受け持つことになった症例のプレゼンをしてください。そのために、術前・術後回診を行い、担当患者さんの病状、治療方針を主治医によく確認しておく必要があります。

◎サポートおよびトラブル発生時の対応（PHS と不在時間）

わからないこと、困っていることがあったら必ず上級医に相談すること。上級医不在で患者さんの件で、急ぎ対応が必要な際は医局長・病棟医長・外来医長に連絡下さい。上級医のPHSと不在時間は研修開始前に確認するようにしてください。